

# 松 風

## 福島県公立学校退職校長会

副会長からの提言	1
高等学校教育の現在、随想	2
支部活動の活性化のために	3
趣味と生きがい	4
令和8年度「寿詞・賀寿・賀詞」該当会員	
令和7年度支部長会報告	5
特色あるクラブ活動、県大会のお知らせ	6

〒960-8107 福島市浜田町4-16 富士ビル2階  
TEL (024) 534-5411  
FAX (024) 531-1195

### 学校現場に役立つ活動を



副会長  
蓬田 吉穂

### 副会長からの提言

理解を深めていかなければと思  
います。

### 持続可能な組織へ



副会長  
須田 元大

昨年度、地元中学校の校長先生に請われて新採用後補充として数学の授業を、年間十数日行いました。長らく授業を行っていなかつたので、始めは楽しみ半分・不安半分でしたが、同じ支部の会員である音楽のK先生と一緒に勤めることがで

き、心強く、充実した時間を過ごすことができました。

デジタル教科書やタブレットを使った授業は初めてで、なかなか効果的に使

いこなすことができず、旧態依然の授業ばかりになってしましましたが、デジタル教科書の視覚的・聴覚的に分かりやすい授業づくりができる等の良さや書く活動が少なくなる等の課題も

から、他校では後補充が見

学校が必要とする人員不足につながっています。

学校が必要とする人員のみならず、豊富な人脈を活かして探し、困っている

学校につないでいければと思

ります。

つからず、苦労していることを聞きました。講師を引き受けたことに感謝されました。このようなケースこそ退職校長会の出番かと思います。不規則な勤務の講師や支援員等は応募する人が少なく、学校の人手不足につながっています。

今年の正月、昨年末全会員に配付された「六十年のあゆみ」にじっくりと目を通しました。創立の理念を受け、多くの先輩方が不斷の努力で組織を運営されてきたこと、特に震災・原発事故とコロナ禍という未曾有の災禍に対して知恵を出し合い、試行錯誤しながら乗り越えてこられたこと

が誌面から伝わり、本会の継続と発展に向けて意欲を新たにしたところです。

さて、こうして歴史を重ねてきた本会ですが、今も急激な社会の変化にさらされていました。特に少子化は、私たちに大きな影響を及ぼしています。子供が減り学校が減れば校長の数も当然減っていきます。本会の会員数も減少傾向にあります。さらに、役職定年制

に伴う一時的な新入会員の減少、また価値観の変化による加入率の低下、それらは必然的に会員の高齢化を招いています。さらに急激な物価高騰による事業運営の難しさ等が追い打ちをかけ、ほぼ全ての支部が、今後の運営に不安を抱えているのではないかとおもいます。

東北地区では役員のなり手不足等から青森県が東北協議会を退会し、全国に目をやれば同じように組織や事業に課題を抱えている支部が増えているようです。今こそ私たちは、本会の設立当初の理念を尊重しつつ、この困難な時代にあって、持続可能な組織や事業を確立していくかなければなりません。そのためには会員一人一人が、自らの支部の課題と向き合い知恵を出し合うことが必要です。その成果を、他の支部が参考にして改善を図つてくれ。その広がりが「会員相互の親睦」「本県及び我が国の教育の向上」という本会の目的達成につながつていくのではないかと思いま





## マーチング指導、再び



岩瀬支部  
善方 威浩

### 趣味と生きがい

現役時代、私は須賀川市立第一小学校で特設マーチングバンド部の指導に携わっていました。他の校務もこなしながらの忙しい毎日でしたが、素人ながら音楽と向き合い、子供たちと同じ目標に向かって努力する経験は、私の原動力でもありました。

マーチングバンドの指導初は集中力が続かなかった子供たちが、練習を重ねるうちに、一つの音、一つの動きに意識を向け、成長していく姿を見ると、大きな喜びとやりがいを感じます。今年は念願の全国大会出場を果たしました。

菊作りと菊仲間

北会津支部  
杉原 武

ところが、令和五年にその活動が「須賀川アカデミックマーチングバンド」として学校から地域に移行され、再びその指導に関わる機会を得ました。当時の子供たちが立派に成長し、今は保護者として活動を支えている姿を見ると、時の流れとともに、自分のあゆみが小さいながら確かにつながっていることを感じて、うれしくなりました。

今年の菊作りを振り返ると、大菊三本仕立てが五十鉢、ダルマ菊が二十鉢、福助菊が三十鉢、ドーム菊が

五十五鉢、中多輪菊が一鉢と、約百五十鉢の菊を育てた。そして、日本菊花全国大会をはじめ、「一本松菊花展、会津美里町法用寺菊花展、喜多方菊花展」に出品し、何鉢か入賞させて頂いた。

なりましたが、子供たちには演奏や動きの技術だけではなく、あいさつや返事をがんばる気持ちや仲間を思いやる心の大切さを伝えることを心がけています。最初は集中力が続かなかつた子供たちが、練習を重ねるうちに、一つの音、一つの動きに意識を向け、成長していく姿を見ると、大きな喜びとやりがいを感じます。今年は念願の全国大会出場を果たしました。



令和7年喜多方菊花展、市長賞を受賞

## 四つの楽しみ



双葉支部  
庄野富士男

私の一日は朝コップ一杯の水（酒ではない）を飲み、歌の一節を声に出すことがあります。退職後、下手の横好きで合唱・ピアノ・水泳・ゴルフを始めました。

これほど菊作りにハマったのは、三年前にユーチューブで知り合った喜多方の渡辺さんとの出会いからである。渡辺さんは喜多方菊花愛好会会长を務めながら、腐葉土作り、培養土作り、挿し芽、鉢上げ、定植、肥料、消毒について、ご自分の作業を動画にして発信されている。私も四十年ほど菊作りをしているが、その動画を見た時、目

から鱗が落ちるくらい感動した。その後、私も喜多方菊花愛好会の仲間に入れてもらい、活動に参加している。菊作りを続けていたおかげで、仲間が増え、新たな目標ができるなど、毎日がとても充実している。これからも健康に留意し、菊作りに取り組んでいきたい。

ピアノについては、ある日突然意を決して妻と一緒に習い始めました。発表会の時は緊張の中での行動なのでいつも失敗しますが収穫もあります。今後は駅ピアノや街角ピアノにも挑みます（勿論冗談です）。

水泳は一日一時間を目課としています。目標は二百メートル個人メドレーですがターンが課題です。ゴルフは毎回楽しく一日を過ごしています。七十五歳で年間七十五日プレーのエージラウンドを経験し満足しています。

この四つができるほど、モーツアルトのレクイエム（永遠の安息）に挑戦した令和八年三月には、N響いわき定期演奏会が沖澤スで開催されます。ラテン語での暗譜による合唱などで、一年前から練習しています。

ピアノについては、ある日突然意を決して妻と一緒に習い始めました。発表会の時は緊張の中での行動なのでいつも失敗しますが収穫もあります。今後は駅ピアノや街角ピアノにも挑みます（勿論冗談です）。

合唱は楽譜が読めない、音域が不明、声が出ないなどの状態からのスタートです（正にトホホです）。諦めず途中で止めなかつたおかげで郡山新春の第九演奏会には十年以上参加しました。現在はその余勢を駆つ

て、モーツアルトのレクイエム（永遠の安息）に挑戦した令和八年三月には、N響いわき定期演奏会が沖澤スで開催されます。ラテン語での暗譜による合唱などで、一年前から練習しています。

この四つができるほど、モーツアルトのレクイエム（永遠の安息）に挑戦した令和八年三月には、N響いわき定期演奏会が沖澤スで開催されます。ラテン語での暗譜による合唱などで、一年前から練習しています。

# 令和八年年度 「寿詞・祝

該當會員名簿

19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
相馬	いわき	いわき	いわき	福島	いわき	いわき	相馬	岩瀬	相馬	いわき	いわき	相馬	いわき	双葉	南会津	福島	石井	堀金
佐久間	鈴木	高橋	高橋	根本	遠藤	高木	草野	佐藤	高橋	斎藤	田中	木田	涌井	須藤	高橋	泰將	保男	健雄
貞良	亀郎	彦士	眞次	晋一	幸吉	清	武文	老松	榮秋	利雄	達男	幸雄	郁雄	泰將	宏様	様	様	様
様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	晃	様	様	様	様	様	様	様

一 「賀寿」（満九十五歳）  
二 「賀寿」（満百歳）  
昭和二年四月一日生まれ  
大正十五年四月二日（

19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
北	郡	郡	田	郡	福	安	東	南	會	い	わ	き	郡	郡	相	西	北	会	津
会	津	山	山	村	山	島	白	會	津	い	わ	き	山	山	馬	白	會	津	島
吉	田	八	代	阿	部	鈴	木	塙	丹	治	佐	藤	添	荒	川	柳	沼	井	上
信	育	幸	信	誠	繁	庸	一	正	之	俊	裕	秀	雅	教	一	洋	行	重	道
様	郎	様	樣	樣	樣	一樣	一樣	一樣	一樣	一樣	三	雄	教	樣	樣	行	樣	根本	服部
信	信	信	信	信	信	庸	一	正	之	俊	裕	秀	雅	教	一	洋	行	重	道
樣	樣	樣	樣	樣	樣	一樣	一樣	一樣	一樣	一樣	三	雄	教	樣	樣	行	樣	根本	服部

三  
「賀詞」  
（満八十八歳）

25	24	23	22	21	20
双葉	福島	安達	岩瀬	福島	郡山
今野	橘浩二郎	大竹秀雄	猪越孝義	小室昭	佐藤光代
末治様	様	様	様	様	様

## 支部長会報告

令和七年十一月十四日  
(金)、令和七年度支部長会  
が、福島市吾妻学習セン  
ターで開催された。今回は  
支部長会と研修会(情報交  
換)を行った。



## 支部長会の様子

◇支部長会

- 第五十九回福島県公立学校退職校長会会津大会  
第五十一回東北地区退職

- ## 校長協議会山形大会

- ・令和七年度の事業実施状況、新入会員数及び会員数、会員登録率等の実績を示す。

- 会費納入状況及び  
計中間報告、デジタル化  
推進支部補助金、慶弔開  
係、令和七年度教育懇談

- 会と要望書

- 第六十回福島県公立学校



グループ協議の様子

- 四つのグループに分かれ、「退職・役職定年者」と未加入会員への勧誘活動」「今後の県大会の在り方」「支部活動の活性化のための支部活動のあり方」について、熱心に情報交換を行つた。

- 事務局から「退職・復職定年者と未加入会員への勧誘活動等調査結果」の報告があり、次いで「今後の県大会の在り方」について提案がなされた。

- 令和八年度活動の重点目標、予算編成方針・予算、要望活動方針、教育懇談会実施要項

## 退職校長西白河大会（大 会宣言案、体験発表支部



共楽亭の広場にて（南湖をバックに）

文化財巡り

石川支部

当支部にはクラブ活動の一つに文化財クラブがあり、年に一度郡内外の文化財巡りを実施する。参加者はクラブ員のほぼ半数の八名前後で、クラブ員の乗用車二台に分乗し、史跡・社寺仏閣・資料館等、昼食を挟んで五・六箇所を巡る。

講師は、クラブ員の中で文化財に造詣の深い方や施設の担当者。長い歴史を刻んできた諸文化財に対峙しその莊厳さに畏敬の念を抱き、保存継承して来た人たちの偉しさや苦労に感服。

今年度は八名で、前浅川

小さな旅、  
楽しみませんか

「近くの史跡や旧跡、景勝地などを見たい」「隣街のイベントに参加してみたい」「身近な所への日帰り旅行を楽しみたい」等々の希望を持つ会員が集まつて

で戦死した三百数十名の奥州列藩同盟軍の鎮魂碑及び市内中心部の長寿院内に眠る新政府軍の墓に默祷。明治天皇が東北巡行の折宿泊した白河宿旧脇本陣柳屋に入室。感慨に浸る。城下町白河のシンボル小峰城は、最大規模の櫓門「清水門」を復元中。実に壮大なり。充実感に溢れ、無事終了。

(文化財クラブ 蝙田重経)

活動はバラエティに富んでいて、しかもとてもユニークです。これらは全て会員からの発案や希望をもとに計画、実施したもので、それだけに今後のためにも記録をしつかり残していくように心がけています。



## 旧日中線枝垂れ桜ウォーク

## 県大会のお知らせ

- 第六十回福島県公立学校  
退職校長会白河大会の開催について

  - ▽主 催
    - ・福島県公立学校  
退職校長会
  - ▽後 援
    - ・白河市教育委員会
  - ・福島県市町村教育委員会
  - 連絡協議会石川支部、西白河支部、東白川支部
  - ▽大 会 管
    - ・福島県公立学校退職校長会
  - ・令和八年六月九日（火）
    - 二 会 場
    - 一 期 日
    - ・シン鹿島

今回の「松風」第一九八号では、多くの支部の考え方や意見などを掲載しました。会員の減少や支部財政の現状を踏まえ、それぞれの支部内で意見交換や情報交換を積極的に行い、持続可能な組織体としてより良い活動や運営を目指したいものです。

編集後記

三 日 程

二一七五四〇 一二四八 電話 (○)

- 受付 十時( )
- 開会式 十時三十分( )
- 講演 十一時二十分( )
- 演題 「小峰城跡の整備」
- 講師 鈴木 功氏
- (白河市建設部文化財課 文化財専門研究員)
- 昼食・懇談
- 十二時二十分( )
- 体験発表
- 十三時二十分( )
- 安達支部、北会津支部、相馬支部
- 大会宣言
- 四会費 千五百円
- 五 参加人数
- 百九十九人程度

編集後記